

令和4年度 キャリア教育全体計画(新教育課程・1年用)

令和4年度チャレンジ目標
①国公立大学20人以上合格 ②就職100%内定、3年間は離職しない進路意識の涵養 ③資格取得 全商検定1級3種目以上取得者40名以上

めざす学校像
就職も進学も強い、元気下商！～生徒が主役の学校づくり・未来に富める人づくり～
学校教育目標
～スローガン「夢を志へ」～
①社会人基礎力の育成・・・前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力 ②確かな学力の育成・・・授業の充実・学習習慣の確立・学ぶ意欲の涵養 ③キャリア教育の推進・・・社会的・職業的自立に向けた基礎的・汎用的能力の育成 ④部活動、学校行事等の充実・・・生徒による自主的・自発的な活動の推進 ⑤地域連携教育の推進・・・コミュニティ・スクールを核とした学校づくり ⑥学校安全の質と水準の向上・・・自他の命を守る意識の高揚と新しい生活様式の実践

めざす生徒像
①経済社会の持続的な発展を支える職業人として必要な資質・能力を備えた生徒 ②多様な人々と連携・協力しながら、様々な困難を乗り越えていくことのできる生徒 ③他者を思いやり、社会に貢献しようとする態度や感謝する心をもった生徒 ④激しい時代の変化に対応しながら、主体的に未来を切り拓く力をもった生徒 ⑤郷土に誇りと愛着をもつとともに、グローバルな視野を合わせもった生徒

【キャリア教育で育てる基礎的・汎用的能力】
①人間関係形成・社会形成能力 ②自己理解・自己管理能力 ③課題対応能力 ④キャリアプランニング能力

キャリア教育によって育む生徒像
①進んで人とつながることができる生徒 ②自分を客観的に見つめることのできる生徒 ③困難なことにも積極的に挑戦することのできる生徒 ④主体的に進路決定をすることができる生徒

【ツール1:「下商スタンダード」】
①系統的・計画的なキャリア指導 3年間の積み上げを重視 ②キャリア教育の目標の共有 生徒と教員の共通理解による キャリア教育の推進

キャリア教育重点目標
A 他者と協働することができる a1 自分の意見を伝えることができる(発信力) a2 他者の意見を聞くことができる(受信力) a3 自他の意見から納得解を導くことができる(調整力) B 課題解決に向けて行動できる b1 課題を発見・分析することができる b2 課題解決に向けて計画を立てることができる b3 課題解決に向けて実行することができる

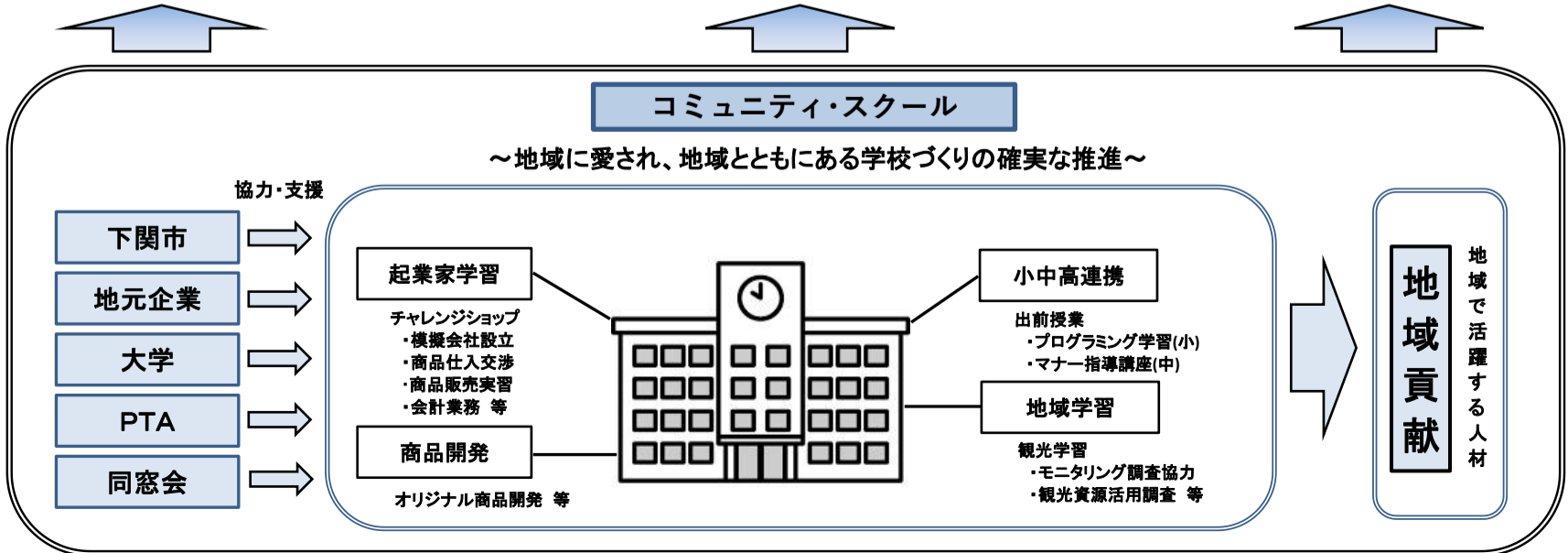
【ツール2:「キャリア・パスポート」】
①「横」をつなぐ 特別活動を要としたキャリア教育 ②「縦」をつなぐ 校種間の系統的なキャリア教育 ③「自己理解」「生徒理解」につなぐ 生徒・教員ともに有効なツール

各学年の指導目標		
1学年	2学年	3学年
知る(自分・社会)	調べて、決める	進路実現に向けて行動する
○基本的生活習慣の確立できる。 ○望ましい人間関係づくりができる。 ○早期から目的意識をもって自分の将来を考えることができる。 ○基礎学力の向上に向けて努力できる。 ○意欲的に資格取得に挑戦できる。	○人の話を理解しようとしながら聞くことができる。 ○身の回りの整理整頓に心掛けることができる。 ○与えられた役割を確実にこなすことができる。 ○体験活動に積極的に取り組むことができる。 ○めざす進路の研究を計画的に行うことができる。	○自己の適性に合った進路選択をすることができる。 ○社会人として必要なマナーを習得することができる。 ○進路決定に向けて、進んで情報集・分析ができる。 ○他人と良好なコミュニケーションをとることができる。 ○進路実現後に向けて引き続き意欲的に学習できる。
主な指導内容	主な指導内容	主な指導内容
・進路希望調査 ・基礎力診断テスト ・キャリア講話 ・キャリアガイダンス ・キャリアセミナー ・インターンシップ ・コース選択説明会 ・各種検定課外 ・体験的活動発表会	・大学訪問、保育実習等 ・進路希望調査 ・基礎力診断テスト ・マナー指導 ・高大連携講座 ・キャリアセミナー ・小論文模試 ・就職・進学総合説明会 ・修学旅行 ・各種検定課外	・進路希望調査 ・基礎力診断テスト ・進路説明会 ・公務員模試 ・指定校推薦説明会 ・チャレンジショップ ・小論文指導 ・小論文模試 ・ビジネスマナー指導 ・推薦試験個別指導 ・小論文課外 ・面接指導 ・就職ガイダンス ・高大連携講座 ・各種検定課外

各教科
○必修教科 ①学習指導要領に示されている各教科・科目の目標及び内容を確実に指導し、基礎・基本を定着させる。 ②指導過程において生徒一人ひとりの学習状況を的確に把握し、個に応じた指導を工夫する。 ③「総合的な探究の時間」との関連を図りながら、着実に学力を向上させる。 ○選択教科 ・自己の能力、適性についての理解を進め、個性を伸ばさせる。

特別活動
☆特別活動を要としてキャリア教育を推進する。 ①多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。 ②集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようになる。 ③自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成する態度を養う。

総合的な探究の時間
①探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける。 ②実社会と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を収集・整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 ③探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。



令和4年度 キャリア教育全体計画(2・3年用)

令和4年度チャレンジ目標
①国公立大学20人以上合格 ②就職100%内定、3年間は離職しない進路意識の涵養 ③資格取得 全商検定1級3種目以上取得者40名以上

めざす学校像
就職も進学も強い、元気下商！～生徒が主役の学校づくり・未来に富める人づくり～

学校教育目標 ～スローガン「夢を志へ」～
①社会人基礎力の育成・・・前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力 ②確かな学力の育成・・・授業の充実・学習習慣の確立・学ぶ意欲の涵養 ③キャリア教育の推進・・・社会的・職業的自立に向けた基礎的・汎用的能力の育成 ④部活動、学校行事等の充実・・・生徒による自主的・自発的な活動の推進 ⑤地域連携教育の推進・・・コミュニティ・スクールを核とした学校づくり ⑥学校安全の質と水準の向上・・・自他の命を守る意識の高揚と新しい生活様式の実践

めざす生徒像
①経済社会の持続的な発展を支える職業人として必要な資質・能力を備えた生徒 ②多様な人々と連携・協力しながら、様々な困難を乗り越えていくことのできる生徒 ③他者を思いやり、社会に貢献しようとする態度や感謝する心をもった生徒 ④激しい時代の変化に対応しながら、主体的に未来を切り拓く力をもった生徒 ⑤郷土に誇りと愛着をもつとともに、グローバルな視野を合わせもった生徒

【キャリア教育で育てる基礎的・汎用的能力】
①人間関係形成・社会形成能力 ②自己理解・自己管理能力 ③課題対応能力 ④キャリアプランニング能力

キャリア教育によって育む生徒像
①進んで人とつながることができる生徒 ②自分を客観的に見つめることのできる生徒 ③困難なことにも積極的に挑戦することのできる生徒 ④主体的に進路決定をすることができる生徒

【ツール1:「下商スタンダード」】
①系統的・計画的なキャリア指導 3年間の積み上げを重視 ②キャリア教育の目標の共有 生徒と教員の共通理解による キャリア教育の推進

キャリア教育重点目標
A 他者と協働することができる a1 自分の意見を伝えることができる(発信力) a2 他者の意見を聞くことができる(受信力) a3 自他の意見から納得解を導くことができる(調整力) B 課題解決に向けて行動できる b1 課題を発見・分析することができる b2 課題解決に向けて計画を立てることができる b3 課題解決に向けて実行することができる

【ツール2:「キャリア・パスポート」】
①「横」をつなぐ 特別活動を要としたキャリア教育 ②「縦」をつなぐ 校種間の系統的なキャリア教育 ③「自己理解」「生徒理解」につなぐ 生徒・教員ともに有効なツール

各学年の指導目標		
1学年	2学年	3学年
知る(自分・社会)	調べて、決める	進路実現に向けて行動する
○基本的生活習慣の確立できる。 ○望ましい人間関係づくりができる。 ○早期から目的意識をもって自分の将来を考えることができる。 ○基礎学力の向上に向けて努力できる。 ○意欲的に資格取得に挑戦できる。	○人の話を理解しようとしながら聞くことができる。 ○身の回りの整理整頓に心掛けることができる。 ○与えられた役割を確実にこなすことができる。 ○体験活動に積極的に取り組むことができる。 ○めざす進路の研究を計画的に行うことができる。	○自己の適性に合った進路選択をすることができる。 ○社会人として必要なマナーを習得することができる。 ○進路決定に向けて、進んで情報集・分析ができる。 ○他人と良好なコミュニケーションをとることができる。 ○進路実現後に向けて引き続き意欲的に学習できる。
主な指導内容	主な指導内容	主な指導内容
・進路希望調査 ・基礎力診断テスト ・キャリア講話 ・キャリアガイダンス ・キャリアセミナー ・コース選択説明会 ・各種検定課外	・インターンシップ ・大学訪問、保育実習等 ・進路希望調査 ・基礎力診断テスト ・マナー指導 ・高大連携講座 ・体験的活動発表会 ・キャリアセミナー ・小論文模試 ・就職・進学総合説明会 ・修学旅行 ・各種検定課外	・進路希望調査 ・基礎力診断テスト ・進路説明会 ・公務員模試 ・指定校推薦説明会 ・チャレンジショップ ・小論文指導 ・小論文模試 ・ビジネスマナー指導 ・推薦試験個別指導 ・小論文課外 ・面接指導 ・就職ガイダンス ・高大連携講座 ・各種検定課外

各教科
○必修教科 ①学習指導要領に示されている各教科・科目の目標及び内容を確実に指導し、基礎・基本を定着させる。 ②指導過程において生徒一人ひとりの学習状況を的確に把握し、個に応じた指導を工夫する。 ③「総合的な探究の時間」との関連を図りながら、着実に学力を向上させる。 ○選択教科 ・自己の能力、適性についての理解を進め、個性を伸ばさせる。

特別活動
☆特別活動を要としてキャリア教育を推進する。 ①多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。 ②集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようになる。 ③自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成する態度を養う。

総合的な探究の時間
①探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける。 ②実社会と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を収集・整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 ③探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

